

のしろ市議会だより

わたし まち

2019年(令和元年)11月8日 第54号



秋田しらかみ看護学院の学生24名が能代市消防団に入団しました

◆特集◆

地域の安全・安心を守る消防団

特集	2P
議会報告会を開催しました	3P
9月定例会の概要	4P
審議結果一覧、市民意識調査結果	5P
一般質問	6P～9P
各委員会での主な審査概要	9P～11P
各常任委員会行政視察報告	12～13P
日本海六県港湾都市議会協議会総会を開催しました	12P
議長の主な動き ほか	14P



令和元年9月定例会
録画中継ページ

◆特集◆ 地域の安全・安心を守る消防団

【消防団員】

消防団員は、会社員・自営業・主婦・学生など本来の仕事を持ちながら、非常勤の特別職の公務員として、火災、水害、地震などの災害発生時には消防職員とともに災害活動を行っています。また、地域の防災活動力を高めるために初期消火や応急救護活動、平常時には、災害から地域住民の生命、財産を守るための予防・広報活動、地域のお祭りなどの警戒、参加協力を行うなど、多くの役割が求められます。このように、地域における防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、地域の安全・安心を守るという重要な役割を担い、「自分たちの地域は自らで守る」という郷土愛護の使命感のもと、722人が火災予防組合や婦人防火クラブ等、消防本部、消防署とも連携し活動をしています。

項目	能代市	県平均
消防団員充足率	85%	88%
サラリーマン化率	74%	77%
平均年齢	48歳	45歳

(10月1日現在)

【機能別団員】

今年3月の市議会定例会において能代市消防団条例が一部改正され、4月1日から機能別団員が従事する任務及び任用資格が拡大され、5月1日秋田しらかみ看護学院の学生24名が能代市消防団に機能別消防団員として入

団しました。5月26日に行われたのしろ子どもまつりでは、多くの子供たちに対しさまざまな防災体験を案内しており、今後は、学んだことを地域のために生かせるように、災害時の救護活動だけでなく、平常時の応急手当ての普及指導、防災教育などの活動に取り組んでいく予定です。

(※機能別団員とは、昼間の火災及び大規模災害、火災予防、広報、救護活動などの特定の任務に限り従事する消防団員のこと。)



市消防競技大会 (7月7日)

【課題と今後】

地域コミュニティの核として存在し、個人事業主や農業従事者等によって充足されていた消防団でしたが、能代市においても団員に占めるサラリーマンの割合が74%まで増加したことで、災害時の日中動員力が著しく低下しています。また、若い世代は新興住宅地へ住むケースもふえ、地域では人口そのものが減り続けている状況などの社会情勢の変化により、地域防災力のかなめである消防団員



県消防操法大会に出場した郡市代表の能代12分団(常盤)がポンプ車操法の部で見事2位(8月24日)

が減少し、防災の担い手を十分に確保することが困難になってきています。今後も持続可能な消防体制を確保するとともに、大規模化する自然災害にも柔軟に対応できるように、かつ消防団員の負担軽減が図られるよう、消防団の新たな組織体制を構築するべく検討を行っています。能代市消防団では、今年度策定された計画をもとに、令和2年4月1日から3年間で再編のための準備期間とし、令和5年4月1日より能代地区7個分団、二ツ井地区2個分団に分団統合を進めて活動していくことになっています。

今後も地域の安全・安心を守る消防団に対し、地域の皆様の深い御理解と御支援が必要と感じました。

文：落合範良 渡邊正人

議会報告会を開催しました

能代市議会では、市民の皆様に対して市政に関する情報を積極的に提供し、皆様の意見を把握し、議会活動に反映させることを目的として、能代市議会報告会を開催しており、今年は8月23日に市内3会場で行いました。

平成30年度の議会の活動状況、予算、決算等の審議概要について報告したほか、御参加いただいた皆様から御意見を伺い、議員が回答いたしました。

意見 グランドゴルフ場の整備についてだが、競技人口はふえているのか。全国大会ができるようなものを多額の費用をかけて整備する必要があるのか。
答 規模、費用については委員会でも指摘している。今後、実施設計を経て



中央公民館会場の様子

上程される予算をみて慎重に判断したい。

意見 本庁舎1階の市民交流スペースだが、閲覧できる資料にかわりばえがなくマンネリ化している。もっと有効に活用してもらいたい。議事録、予算書、決算書も配置してもらいたい。また、専属の職員でもいれば助かるのだが。

答 現地を見ながら検討したい。議事録、予算書、決算書は配置されている。専属の人員配置は厳しいが、隣の受付に相談すると担当課にすぐに連絡がとれる。

意見 行政視察等の税金の無駄遣いはやめてもらいたい。ほかに市長、議会の報酬を半分にすれば子育てにお金をまわせる。天空の不夜城の補助金もやめ、商工会議所でやってもらえばよい。

答 税金の無駄遣いについては我々も決算等で各事業等がしっかりと成果や効果があるかを見て判断している。効果がないものに5年、10年と補助を続けるのかといった観点はわかるが、全てやめたからよしいというものではなく、また子育てに力を入れてないわけでもない。子育て等ニーズを関連会議で把握し、広くどういったやり方があるのか議論は必要と考える。

意見 本市に所在する各種文化財の保

全等についての陳情が採択されたが今後の進展は。

答 当局で検討が進められている。

意見 毎年、全国の先進地へ情報を求めて研修に行っていると思うが、それをどう議会に反映させているのか。

答 各委員会が能代市にとって問題がある部分を先進地に行つて視察し持ち帰り、検討、反映させるといったのが目的である。各会派でもそれぞれ視察に行くことがあるが、目的は能代市の問題を改善する、ということと同じである。

以上を一般質問や、各委員会で取り上げるようにしている。

会場、参加者数及び出席議員

渡辺優子議長を除く議員で、3つの班を編成しました。会場ごとの参加者数及び出席議員は次のとおりです。

○中央公民館 (参加者15名)

出席議員

小林秀彦班長、大高翔、佐藤智一、針金勝彦、安岡明雄、原田悦子

○南部公民館 (参加者13名)

出席議員

武田正廣班長、安井英章、島貞一郎、落合康友、伊藤洋文、庄司紘八

○鶴形公民館 (参加者5名)

出席議員

藤田克美班長、菊地時子、菅原隆文、渡邊正人、安井和則、落合範良

このほかにも行政視察の報告の仕方、補助金のあり方、市道の再舗装及び除雪、大雨時の浸水被害対応、介護職人材不足解消のための支援等の御意見や御要望がありました。市ホームページに班ごとの報告書等を掲載しておりますので、ごらんください。

参加者アンケートより

問 議会報告会に参加していかがでしたか。(1つ選択)

- ・よかった 10名
- ・どちらかといえばよかった 8名
- ・ふつう 6名
- ・どちらかといえばよくなかった 1名
- ・よくなかった 0名
- ・わからない 0名
- ・無回答 3名

「よかった」を選択した理由
 ・わからなかったことがわかった。

「どちらかといえばよかった」を選択した理由
 ・直接話し合うことができるのでよいと思う。

「どちらかといえばよくなかった」を選択した理由
 ・時間が足りない。「意見として伺っておく」ということだが、どのくらい伝わるのか。その結果が示されることはあるか。

9月定例会の概要

令和元年度一般会計補正予算は

全会一致で可決

9月定例会は、9月3日から10月2日まで30日間の会期で行われました。

提出された議案は、令和元年度一般会計補正予算、平成30年度一般会計決算及び特別会計決算など全29件と、議員発議の意見書案1件で、審議の結果、全ての議案を承認・可決・認定しました。陳情は1件を採択、1件を不採択としました。

なお、これまで一般会計等の決算審査は、12月定例会前の閉会中に行っておりましたが、次年度の当初予算編成に議会の意見を反映させられるよう、9月定例会中に審査することとしました。

主な単行議案

◆能代市印鑑条例の一部を改正しました

住民基本台帳法施行令の一部改正により、住民票に旧氏の記載が可能となるため、印鑑登録について、旧氏で登録できるよう規定の整備をしました。

◆能代市保育所条例及び能代市へき地保育所条例の一部を改正しました

子ども・子育て支援法施行令の一部改正による幼児教育・保育の無償化に伴い、保育料の額を改めました。

◆能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与条例の一部を改正しました

能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金の入学一時金を入学前に交付できるよう変更しました。

◆能代都市計画事業下水道受益者負担に関する条例の一部を改正しました

能代市公共下水道事業計画区域の拡大に伴い、新たな負担区（長崎第4、向能代第3、東能代第3）及び負担金の額を定めました。

平成30年度決算

- ・能代市一般会計決算及び特別会計決算
- ・能代市水道事業会計決算
- ・能代市下水道事業会計決算

令和元年度一般会計補正予算

補正予算（第4号）は5億30083万円が追加され、予算総額は280億9800万円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆財政調整基金積立金

3億5332万1000円
市の貯金に相当する財政調整基金に、前年度からの繰越金の2分の1を積み立てます。補正後の基金残高は49億2376万8000円です。

◆すこやか子育て支援事業費

373万5000円
保育所や認定子ども園等に通っている3〜5歳児の副食費を助成します。

◆個人番号カード利用環境整備事業費

279万2000円
マイナンバーカードを活用した自治体ポイントによる消費活性化策の導入準備をします。

令和元年度特別会計補正予算

- ・能代市農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・能代市常盤財産区特別会計補正予算
- ・能代市鶴形財産区特別会計補正予算
- ・能代市檜山財産区特別会計補正予算
- ・能代市国民健康保険特別会計補正予算
- ・能代市後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・能代市介護保険特別会計補正予算

令和元年度企業会計補正予算

- ・能代市水道事業会計補正予算

専決処分の承認

◆令和元年度能代市一般会計補正予算（第5号）
297万円
道の駅ふたついの水源にふぐあいが生じたことから緊急に対応するため、必要な経費を専決処分しました。

意見書の提出

◆今定例会では、1件の意見書を可決し、関係行政庁へ提出しました。
◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書

審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ー：退席
 ※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

議案番号等	議案名等	採決結果	改革ネットワーク (青の会、市民の声、シリウス、 大河の会、日本共産党)						平政・公明党					希望							
			安井英章	小林秀彦	菊地時子	大高翔	梶原一郎	落合康友	安岡明雄	藤田克美	渡辺優子	渡邊正人	針金勝彦	原田悦子	落合範良	庄司紘八	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	武田正廣	安井和則
承5	専決処分した令和元年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	能代市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	能代山本広域市町村圏組合規約の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	能代市印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	能代市保育所条例及び能代市へき地保育所条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	能代市へき地保育所条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	能代市立診療所設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	能代市健康づくり推進条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	北秋田市周辺衛生施設組合の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	北秋田市周辺衛生施設組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	北秋田市周辺衛生施設組合の解散に伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	能代市給水条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	能代都市計画事業下水道受益者負担に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	平成30年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	平成30年度能代市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	平成30年度能代市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	令和元年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	令和元年度能代市農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	令和元年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和元年度能代市常盤財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	令和元年度能代市鶴形財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	令和元年度能代市檜山財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	令和元年度能代市国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	令和元年度能代市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	令和元年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	令和元年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳23	新たな過疎対策法の制定に関する意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳24	令和元年10月1日の消費税10%への引き上げの中止を求める意見書提出について	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議3	新たな過疎対策法の制定に関する意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市民意識調査結果

市民意識調査において、市議会に関する質問項目を設けています。今年の調査結果をお知らせします。

問 能代市議会では、議会だよりやホームページを通じて活動状況をお知らせしているほか、本会議のライブ・録画中継を行うなどの取り組みをしていますが、市議会に対してどのようなことを期待しますか。(選択は2つまで。構成比は回答者857人に対する割合のため、合計値は100%になりません。)

- 1位 市民の意見を広く聴く取り組みを充実する (53・7%(55・4%))
- 2位 市勢の発展に資する政策を提案する (37・5%(37・3%))
- 3位 特になし (20・2%(17・0%))
- 4位 条例や予算等の内容が適正か審議する (19・3%(20・4%))
- 5位 行政の事務が公正に行われているかチェックする (17・3%(20・5%))
- 6位 議会活動に関する情報提供を充実する (10・0%(10・2%))
- 7位 その他 (2・6%(2・6%))

大 高

翔

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

フルタイムの臨時・非常勤職員に退職手当を

【問】退職手当は電電公社小倉電話局事件の最高裁判例により任命権者の裁量は極めて狭く、地方自治法204条に規定する「常勤の職員」には一定のルールに従って必ず支払うべきものではないか。

【答】臨時・非常勤職員に対する退職手当の支給については、職員の勤務時間以上勤務した日が18日以上ある月が引続き12月を超えるに至った場合に適用される。本市では、1年の雇用期間終了後の雇用期間は、職員の勤務時間に比べ短い勤務時間で雇用することと規則で定めていることから、本市の臨時職員で退職手当の支給対象となる方はいない。

ウツドスタート宣言

【問】都心とのマッチングにより、能代でつくった木製の誕生日品が毎年約2000名の都心の子供たちの手に渡ると、木都能代のPRや木材振興の起爆剤になるはず。宣言する場合、森林環境譲与税基金の活用は。

【答】木のおもちゃの贈呈は、すでに、市独自事業として新生児に対し実施している。また、県や市の補助金を活用した木育の活動や木材製品のPRが行われており、現時点では、特にウツドスタート宣言する必要を感じていない。森林環境税及び森林環境譲与税については、森林経営管理事業への基金充当が最も効果的であると考えている。

その他の質問事項

- 会計年度任用職員制度の人件費
- 庁内の行財政改革
- 旧崇徳小学校舎の利活用

落 合

範 良

平政・公明党

市道沿いの環境整備

【問】市道、特に幹線道路のパトロールは適切か。側溝は路面排水に加え道路下部の排水を促すべく設けるもので、排水を促すことで道路の寿命は確実に延びる。大きな出費ならぬよう適切な管理が必要では。

【答】市道のパトロールについては、職員による巡回のほか、定期的な巡回を業者委託することにより、異常が発見された際には、迅速な対応ができる体制を整えている。側溝については、地域と市が協働で清掃を実施しており、大きな断面の側溝や暗渠構造の箇所、交通量の多い幹線道路沿いについては、市が清掃を業者委託により実施している。

洋上風力発電事業の促進

【問】再エネ海域利用法で促進区域の有望区域に指定された理由をどう捉えているか。またヨーロッパ視察時、港湾関係者との意見交換で自然環境や生活環境についても聞いたとのことだが、その内容は。

【答】今回の選定は、これまでの秋田県及び能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会を初めとした県北地域の取り組み等が評価されたと考えている。ヨーロッパでは、自然環境や生活環境への影響は特に問題になっていなかった。地球温暖化問題への意識の醸成や市民出資による利益還元等により、風力発電への理解度が高いのではとのことであった。

その他の質問事項

- 能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略

佐 藤

智 一

希望

介護職員初任者研修の取得に助成を

【問】市の就業資格取得支援事業は国家資格や技能検定取得が補助対象だが、介護現場では即戦力として介護職員初任者研修も有効である。実務に即した制度となるよう同研修も補助対象とすべきではないか。

【答】介護職員初任者研修は、補助対象である国家資格や国家検定には当たらない。しかしながら、研修によって身につけた知識やスキルにより、活躍の場が広がるだけでなく、より質の高い人材の確保にも期待できる。今後は、事業所に研修の受講状況等を確認しながら、支援の必要性、手法等について研究していきたい。

介護人材不足に対し今後の対応は

【問】現行の高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画では介護人材確保への対応を県策定の計画と連携を図るとしている。加えて市独自の具体的な取り組みや方針を盛り込むべきではないか。

【答】次期計画については、国の方針により、地域が目指すビジョンを明確化することとなっている。介護人材の確保は、本市においても重点的な課題の一つと捉えていることから、今後は、事業者等からの御意見もお伺いしながら、人材確保及び定着に向けた取り組みについて研究・検討していきたい。

その他の質問事項

- 特定処遇改善加算制度の周知は十分か
- 外国人介護人材の受け入れ
- 介護サービス事業所認証評価制度の推進

菊地 時子 改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

老朽化が進む市営住宅建てかえ等

【問】老朽化が進む市営住宅では、高齢化も進み、二階に行かず一階の台所で寝起きする方や、お風呂もないので銭湯通いの方が、今か今かと建てかえに期待している。建てかえ等のスケジュールは。

【答】万町住宅の建てかえについては「秋田県津波浸水想定」の公表を受け、本市津波避難計画の内容を踏まえた検討が必要になったことから、予定より2年ほどのおくれが生じているが、来年度には整備計画をまとめ、その後設計に移行していきたいと考えている。大瀬住宅2階建てについては、今年度以降に廃止または建てかえ手法の検討を行うこととしている。

学校のエアコン設置の検討は

【問】今年の夏も30度を超す暑い日が続き、熱中症で病院に搬送される方や、亡くなる方が出ている。学校へのエアコンの設置について昨年も取り上げたが、検討状況は。

【答】整備の基本的な方向として、業務用エアコンより安価な家庭用壁かけ式エアコンの設置を考慮しており、本年8月、試験的に壁かけ式エアコン1台を教室に移設し、稼動状況を調査したところ、十分な効果が得られることを確認した。この結果も参考にしながら、整備手法をさらに検討し、令和2年度から整備に着手したいと考えている。

その他の質問事項

- 子供たちの防災意識を高める体験活動を
- 地産地消の取り組みは

庄司 紘八 平政・公明党

能代市総合体育館の駐車場不足

【問】能代市総合体育館に隣接の「水と階段の広場」を駐車場に使用するなど、もっと多目的に有効活用するために、民間も交えて活用方法を話し合う場をつくってはいかがか。

【答】能代市総合体育館の駐車場については、現在、河畔公園全体で543台分の駐車スペースを確保しており、通常の利用状況では充足しているものと考えている。水と階段の広場の再整備については、現在の利用状況を踏まえ、各種団体等や市民の皆様から意見を伺いながら、国や県と協議の上、検討していきたい。

東中跡地利活用

【問】現在の扇淵地域センター及び東部公民館は、将来的には東中跡地に移転し、地域センター及び公民館として整備することを基本としたとの提案をいただいた。意見集約と速やかな実施を。

【答】東中跡地については、地域センター及び公民館の移転整備を基本とすること、公共的団体や民間事業者による利活用等を検討している。今後、地元にごうした意向を伝え、意見交換を実施しながら、地元の皆様の理解を得られるよう努めるとともに、具体化に向けた検討を進め、実現化を目指していく。

その他の質問事項

- 風の松原の整備・利用
- 能代宇宙イベント環境整備
- 指定管理料の算定基準額の見直しは

菅原 隆文 希望

不登校児童生徒への対応

【問】夏休み明けにふえると言われる不登校児童生徒への対応について、学校や市教育委員会の公的な支援策の取り組みの効果は。民間のフリースクールとの連携や協調をどうとするのか。

【答】市内全ての中学校へのスクールカウンセラーの配置や、適応指導教室はまなす広場の開設により、学校に復帰できた児童生徒が、少しずつだがふえてきている。教育委員会が設置する機関も、民間のフリースクール等も目指す方向性は同じものと考えている。今後、民間も含めた支援機関との話し合いの場を設け、検討を進めていく。

0歳児～2歳児にも幼児教育等の無償化を

【問】10月からの国の幼児教育・保育の無償化策によって生じる、これまで補填してきた一般財源の使い道は。国の無償化策に該当しない0歳児～2歳児にも市独自の補助で無償化できないか。

【答】国の無償化対象外の保育料を市独自で助成する場合、多額の一般財源を要することから、現状では困難であると考えている。なお、10月以降も引き続き、2歳児以下の保育料を、市独自に軽減するほか、すこやか子育て支援事業において、保育料の助成を行っている。

その他の質問事項

- 小・中学校エアコン設置の進展は
- 保育施設の途中入所の現状と課題
- 公民館や図書館にWiFi整備を

安井 英章

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

二ツ井駅前パークりんりんの再利用を

【質】愛好家の自転車は高価で100万円を超える物も多い。パークりんりんを活用し、自転車の保管施設として再利用できないか。また、集会所や町内会などの倉庫としての再利用はできないか。

【答】平成27年以降使用を中止しており、昨年7月の条例廃止に伴い、庁内のほか周辺自治会等に対し活用の意向調査を実施したところ、活用の要望はなく現在に至っている。自転車の保管施設としての活用については、需要が不明であり、現時点では考えていない。今後、地域住民等から活用の要望があれば譲渡及び貸し出し等も含めて検討していきたい。

二ツ井町の名前を住所表記に残すべき

【質】現在は郵便番号をパンコン等に打ち込めば字（あざ）の住所まで出てくる。二ツ井町と書くことは面倒でもない。必要がないと思う場合、書かなければよいのでは。そもそもなくす必要がない。

【答】地域自治区が存続している限りは、現在と同様の住所表示となるが、仮に地域自治区が廃止となる場合でも、議会の議決を経て字名変更の手続をすること、現在と同じように「二ツ井町」を住所表示することが可能となる。引き続き庁内検討会議において、地域協議会の意見等を伺いながら検討していく。

その他の質問事項

- 能代市でも家庭用燃料電池に補助を
- 企業版ふるさと納税の活用を
- 二ツ井地域局の充実した機能を残すべき

小林 秀彦

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

補聴器購入への補助

【質】難聴に苦しむ方々が安心して生活できるようにするためにも、難聴で困っている方の現状を把握し、補聴器購入への公的補助の創設、相談体制や医療としての支援を充実すべきでは。

【答】加齢性難聴において、補聴器の必要性は認識しているが、補助については、対象とすべき難聴の程度や所得要件等の検証が必要となることから、他自治体の動向や本市の財政状況を勘案しながら検討していきたい。

農業技術センターの整備方針

【質】市が直轄で運営する同センターの全面更新を視野に入れた機能強化に向け、整備方針検討委員会が開かれた。2年後に統合となる能代西高跡地は、移転先候補の対象となっているのか。

【答】まずは、施設のあり方や必要機能等について、方向性を検討し、その上で設置場所や整備費用等を加味した検討を行うこととしている。業務委託での整備のパターンは、「現在地での建てかえ」か「移転による新設」を想定しており、移転による新設では能代西高跡地に限らず、一定条件を満たす場所であれば検討の対象になると考えている。

その他の質問事項

- 洋上風力発電
- 農業労働力確保の対策は

畠 貞一郎

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

洋上風力の懸念する問題

【質】先例のない洋上風力導入に当たり、欧州と違う日本特有の環境として雷、台風、地震について対策はとれているのか。

【答】雷対策についてはこの地域の実情を勘案した非常に厳しい規格が適用される。風や波に対しては50年に1度の強風と波浪及び20年間の繰り返し作用に対する安全性を、地震に対しては500年に1度の大地震に対して安全性を確保できる設計が求められており、地域の環境に適合した設備が導入されることとなる。

能代駅周辺の無電柱化による活性化

【質】国では法律が成立し、無電柱化を実施する目標を掲げている。北高跡地周辺から商店街を含む駅周辺が無電柱化に向かえばまちは大きく変わるのではないか。

【答】中心市街地活性化を図るためには、電柱がなくなっただけを生かして、どのような取り組みを進めるかが重要である。市としては、第2期中心市街地活性化ビジョン・中心市街地活性化計画に基づき事業を実施していく中で、国の推進計画との整合性を図りながら、その必要性や費用対効果等について研究していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 宇宙のまち能代
- 洋上風力の促進区域
- 北高跡地の利活用

安岡 明雄

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

風の松原を含むイージス・アショア再調査

【問】去る5月、配備候補地となり得る国有地ではない、とされた風の松原。先人の遺産で市民の憩いの広場であり、歴史や価値を無視する防衛省に、調査結果を待たず「不適だ」との意思を示してほしい。

【答】国は先月28日、イージス・アショアを国有地に配備可能かどうかを検討する再調査の概要について県と秋田市に説明したとの報道があった。再調査の対象には、前回の調査で不適とされた風の松原も含まれているが、調査終了後、速やかに関係自治体と地元住民に説明する方針が示されていることから、今後の国の動向や県の対応を注視していきたい。

厚労省が発表した児童虐待の状況から

【問】全国と同じく秋田県も、毎年ふえ続けている。虐待対策の力ぎは「予防」であり、母子生活支援施設での役割は重要、との指摘もある。市の現状をどう把握し、虐待予防など市の役割をどう考えているか。

【答】虐待を受けた子供の身体的状況及び生活環境等について、市の担当者、家庭相談員、警察署等の関係機関と情報を共有しながら、適切に対応している虐待防止に当たっては、発生予防、早期発見・早期対応が重要であることから、今後も、子供の安全確保を最優先に、各関係機関と連携を密に対応していく。

その他の質問事項

- 自治会要望に対する対応のあり方
- 洋上風力の報告は膝を交えた意見交換で
- 公共施設再編は市民合意を得る努力を

各委員会での主な審査概要

決算特別委員会

30年度一般会計と特別会計の決算を認定

9月11日に決算特別委員会を開催し、総務企画分科会、文教民生分科会、産業建設分科会の3分科会を設置し、一般会計と10の特別会計の決算を審査しました。一般会計の決算額は、歳入280億8084万793円、歳出273億5076万2245円で、歳入歳出差引額は7億3007万8548円。全特別会計の決算額は、歳入148億9431万1704円、歳出143億3374万3829円で、各特別会計とも黒字決算または収支同額でした。審査の結果、決算を認定すべきものと決しました。審査の主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

歳入

【実質単年度収支】平成30年度実質単年度収支が黒字に転じた要因については、道の駅ふたついの土地売り払い収入があったことにより黒字に転じたもので、ここ数年の状況としては、やや歳出超過傾向にある。30年度末の財政調整基金があるものの、今年度当初予算において一部繰り入れしており、今後も苦しい財政運営が見込まれる。国の動向を踏まえながらさらなる自主財源の確保や歳出の抑制等が必要になると考えている。

【ふるさと納税】

例年、市の特産品のPRを兼ねて関東能代会、東京二ツ井会の会員にパンフレットを送付している。これにより市の知名度が広がっていくことも期待できることから、今後もふるさと納税の活用を呼びかけていきたい。

歳出

【移住定住環境整備事業費】これまで移住相談、空き家バンク、移住交流サロン等の支援の取り組みを行っており、20代から40代の移住割合が非常に多い。今後も支援のメニューを充実させ、積極的な活動を続けたい。

【恋文商店街推進事業費】

恋文すぽっときみまちの運営、きみ恋軽トラ市等のイベントの支援を行っている。利用実績は平成28年から増加傾向にあり、誘客は図られているものと考えている。

【つどいの広場の開設場所】

常設の要望もあり、今後、移設の可否も含め検討したい。移設する場合には、学校跡地等の利活用も含め検討したい。

【バスケの街づくり事業】

競技を中心として各種大会を開催し支援をしているが、これからも一層底辺の拡大を図りながら進めていきたい。

【農産物販路拡大対策事業】

現在のトップセールスはネギを中心としているが、次の農産物については、キャベツを考えている農家の方もいる。計画段階であるが、ネギとキャベツを含めたメガ団地構想もあるため、計画等が整えば支援していきたい。

【市道の除雪】

業者が行う除雪範囲の境界部に雪だまりが生じる状況への対応については、後から行う業者が解消することとしているが、今後予定している業者説明会において周知したい。

総務企画委員会

質 道の駅ふたついのふぐあいの生じた水源について、安定した水量を確保するためにどのような見直しを持っているのか。

答 水源については、水量、水質、地質等の調査を行っているが、揚水量や透水性が低下しており、道の駅建設工事のとき施工された約5メートルの盛り土が原因ではないかとの中間報告を受けている。現在は近隣の民間施設から水の供給を受けているが、新たな水源を確保する必要性から、河川区域を管轄する国土交通省と協議していきたい。

質 水量が不足なら、水洗トイレ等飲料に供しない水については中水を利用する考えもあるのではないかと。

答 安定した水を確保するためにはさまざまな手法が考えられるが、最終調査報告を踏まえ検討していきたい。

質 地方交付税について、今回の決定額は予測どおりだったのか。

答 当初予算では基準財政需要額の包括算定経費等に地方財政計画の伸び率を乗じ、公債費を勘案して約73億円と見込んでいた。基準財政需要額の個別算定経費や臨時財政対策債の振りかえ相当額の増減はあったが、ほぼ見込みどおりと考えている。

質 ふるさと人材育成・定住促進奨学基金繰入金の補正理由は。

答 能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学基金と条例が改正された場合、入学一時金の交付時期が入学後から年度内の入学前に改められることから、それに対応するため基金から繰り入れて年度内の予算を確保しようとするものである。

質 今後の臨時財政対策費の起債の考え方は。

答 地方交付税に頼らざるを得ない状況の中で、一般財源を確保するためにも、実質的な地方交付税と見なされる臨時財政対策債については、発行可能額にできるだけ近い金額で借り入れしていく必要があると考えている。

質 少子化要因調査・分析事業委託料の調査の目的と手法は。

答 本調査は合計特殊出生率、出生数等の少子化に関する指数をより深掘りして分析を行い、本市の少子化の要因を明確にして今後の施策に生かすことが目的である。手法はフィールドワークを取り入れ、ヒアリングの際に地域の習慣、意識の分析調査を行うものがあり、学術的、客観的な検証につながると考えている。

(菅原隆文)



文教民生委員会

質 印鑑条例の一部改正により、印鑑登録が旧氏で登録できるようになるが、何度か再婚された方の旧氏の選択方法は。

答 戸籍謄本等に記載されている旧氏の中から一つを選択し併記できるようにする。

質 保育時間の短い子供も無償化の対象になるのか。

答 対象になる。

質 健康増進法の一部改正に伴い、受動喫煙の定義が改められ、市施設は原則として敷地内禁煙とする方針とのことであるが、市役所本庁舎の屋外喫煙所の対応は。

答 令和2年4月1日までに廃止する予定。敷地内の駐車場の車内も禁煙になる。



市役所本庁舎の屋外喫煙所

質 道の駅ふたついと、養護老人ホーム松籟荘における屋外喫煙所の設置場所は。

答 屋外喫煙所を設置する場合は、施設の入り口から極力離すなど、受動喫煙防止対策を講ずる必要があり、施設の管理者が令和2年4月の実施に向けて検討することになる。

質 ふるさと人材育成・定住促進奨学基金と条例の一部改正により、奨学金の入学一時金を入学前に交付できるようになる。奨学生が大学等に入学しなかったときなどは、速やかに一括して奨学金を返還させることとするところがあるが、すぐに応じられない場合の対応は。

答 何らかの事情で結果的に入学できなかったという場合も考えられるため、そういった場合は個別に対応したい。

質 いつから奨学生の募集をする予定か。

答 すでに8月16日から一次募集をしており、9月17日を締め切りとしている。今回募集した分については、10月9日に審査を行い、10月下旬までには本人に通知し、入学が決定する1月から3月の間に入学一時金を振り込む予定である。

質 すこやか子育て支援事業費補助金の中で、副食費を市独自で助成することとなるが、対象となる児童数は。

答 保育所、認定子ども園を合わせて、478人の見込みである。

(落合康友)

産業建設委員会

質 北秋田市周辺衛生施設組合解散で発生する施設解体の経費等は。
答 解体撤去費等経費は約5億2000万円、この経費から基金残を除いた額を、構成市町村の負担割合で案分することとなる。能代市の負担額は1億2000万円くらいと推定している。

質 能代都市計画事業下水道受益者負担に関する条例の一部改正での負担額算出根拠は。
答 末端管渠事業費の5分の1以上かつ3分の1以下が望ましいとの国からの通達をもとに計算し、これまでの負担額や県内他市の動向を踏まえ、1平米当たり480円に据え置いた。

質 一括で支払いが困難な方への対応は。
答 所有している土地の面積に応じた負担を賦課しているが、畑等については、宅地として活用されるまで猶予するなど、個別に状況を確認した上で、柔軟に対応している。また、5年間、年4期に分割することを原則とし、一度に負担がかからないように配慮している。



産業建設委員会の様子

質 能代市水道事業会計決算の認定で、純利益が前年度と比較し減している理由は。
答 平成30年度は、検定満期のメーター取りかえが多い年に当たっていたことにより、作業委託料や修繕料がふえたことが要因である。

質 今後の水道事業の経営見通しは。
答 令和8年までの経営戦略内の財政推計等は、おおむね良好に推移すると考えているが、令和3年度決算時点での経営戦略の中間見直しを行うことしており、精査していきたい。

質 有収率向上に対する取り組みは。
答 水はけのよい砂地等に埋設されている老朽管において、地上に出ないで浸透する漏水量の増加が、有収率低下の要因と考えている。令和2年度から専門業者による地下漏水調査を予定している。老朽管の更新は、古いものから計画的に行っているが、調査結果を踏まえ、漏水の多い箇所の前倒しも考えている。

質 空き店舗流動化支援事業費補助金の実績と事業継続予定は。
答 平成26年度から30年度まで、補助金を利用して開業した店舗が20件、うち現在も営業しているものが16件である。市内の空き店舗が目立つ中、空き店舗の流動化に一定の効果をj得ていると考えており、今後も継続していきたい。

(落合範良)

議会基本条例策定 特別委員会

9月18日に開催された委員会では、各条文についての6回目の検討を行った。

「目的」について

意見 「議会及び議員の役割や責任」の文言について、前文に文言を記載することにより、条文に明記しなくてもいいと考える。

「会派」について

意見 同一理念及び政策を共有する3人以上の議員で構成するという文言のうち、3人以上を削除する。

「議員の報酬」について

意見 どうあるべきかを規定するものであって、改正案を提出する際のものだけを規定すべきではない。

意見 現状は報酬審議会の意見を踏まえた市長の提案を議会が判断しているが、そのかたちと違う場合の対応、判断基準について規定した。

「政治倫理」について

協議結果 全会一致で内容を確認した。

なお、全会一致に至っていない条文については引き続き検討を要するものとした。

前文について

会派「改革ネットワーク」及び会派「平政・公明党」から文案が提出され、次回までに各会派の意見を取りまとめ協議することとした。
 (佐藤智一)

議会の主な動き

- 7月8日 産業建設委員会行政視察 (10日まち)
- 7月10日 総務企画委員会行政視察 (12日まち)
- 22日 総務企画委員会協議会
- 29日 産業建設委員会協議会
- 8月27日 会派代表者会議
- 9月3日 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 決算特別委員会(全体会)
- 13日 各常任委員会
- 18日 決算特別委員会(各分科会)
- 27日 決算特別委員会(全体会)
- 10月2日 議会運営委員会
- 9月定例会閉会

各常任委員会行政視察報告

総務企画委員会

視察日 7月10日～12日
視察市 愛知県長久手市、岐阜県各務原市
視察項目

- 長久手市
- 各務原市
- ・住民プロジェクト推進事業
- ・人口増加の要因と取り組み
- ・シティプロモーション
- ・DIY型空き家リノベーション事業

住民プロジェクト推進事業 人口増加の要因と取り組み

名古屋市及び豊田市の近郊都市として人口が増加し、平均年齢が低い長久手市だが、人口減少と高齢化の進行に備え、「日本一の福祉のまち」を目標にそこに暮らす人たちが支え合う絆で結ばれた「幸福度の高いまち」を目指している。

市民と市職員と一緒に、地域の課題を地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」づくりを行っており、この新たな住民協働プロジェクトは、次世代のまちづくりの担い手の発掘・育成、そして市民一人一人に役割と居場所がある（＝たつせがある）まちの仕組みづくりを目的として実施している。プロジェクトは、1.職員勉強会、2. たつせがあるフォーラム（市民交流会）、3. 市民ワークショップ（市民協働プロジェクトチーム）で構成されており、1.では、時代が求める職員になるべく、市の若手職員による勉強会「長久手おむすび隊」（長久手を結びた



い！の思いからの愛称）による、事例研究や他地域に出かけてのヒアリングの手法、ワークショップのファシリテーションの方法、そしてプロジェクトの企画方法などを実践的な演習形式で学び、2.では先進地の事例を学んだり、講師や市長を交えてトークセッション方式でフォーラムを開催している。＊「たつせがある」とは、「立つ瀬がない」の対義語として市がつくった造語で、市民一人一人に立場と居場所をつくり、みんながまちのこと、身の回りのことに取り組もうとする意思表示。

シティプロモーション

「選ばれる都市」の実現に向けて、市のブランドイメージを確立し、移住定住人口の増加につなげるため、平成28年2月に「各務原市シティプロモーション戦略プラン」を策定し、東海3県に居住している20～30代の若い世代をメインターゲット層に設定し、「ちよつといい暮らし」を提案している。また、まちのよさを市民みずから掘り起こし、再認識することで「まちへの誇り（シビックプライド）」を醸成し、「まちの魅力」として、市民みずから発信すること、まちのイメージ向上を図る「価値共創シティプロモーション」に取り組んでいる。

DIY型空き家リノベーション事業

「空き家を手放す気はないけれど、活用したい」という所有者と、「住宅を購入する気はないけれど、DIYをして自分らしい暮らしをしたい」という借主のマッチングや契約までの流れを、市・民間企業・大学・金融機関が四位一体となってサポートする「借主負担DIY型（貸主が修繕義務を負わない代わりにやや安く貸し出し、借主が自費で修繕を行い、退去時は原状回復義務がない契約のこと）空き家リノベーション事業」を行うこと。（渡邊正人）

日本海六県港湾都市議会 協議会総会を能代市で開 催しました

7月30日に、旧料亭金勇で日本海六県港湾都市議会協議会総会を開催しました。

同協議会は、外航船が出入港する国際貿易港湾がある日本海沿岸の秋田、山形、新潟、富山、石川、福井6県の14市議会で構成され、港湾の整備促進や利活用について国への要望活動を行っています。能代市では平成25年以来6年ぶりの開催となりました。

日本海沿岸の港湾整備等に関する要望として、次の2項目が承認され、要望書を国土交通省東北、北陸両地方整備局に提出しました。

- 環日本海交流を支える国際貿易港湾の整備
- 災害に強い港湾の整備促進



産業建設委員会

視察日 7月8日～10日

視察市 神奈川県川崎市、相模原市
視察項目

川崎市

- ・水素社会に向けた川崎水素戦略

相模原市

- ・家庭ごみの「ふれあい収集」
- ・道路通報アプリ「パツ！撮るん。」
- ・さがみはら森林ビジョン実施計画

水素社会に向けた川崎水素戦略

川崎市は、もともと臨海部の工業地帯に燃料電池関連技術の企業が多数集積していた。そこに千代田化工が水素を液体化し運搬する技術を開発したことで活用方法について相談があり、水素戦略作成へのきつかけとなったと説明があった。まとめで、エネルギー資源の乏しい日本では水素はエネルギー安全保障と地球温暖化対策の切り札と期待されており、水素社会実現に向け川崎の特徴・強みを生かし積極的な導入と利活用で未来型環境産業都市実現につなげていきたいと話していた。

家庭ごみの「ふれあい収集」

自分でごみを出すことができない高齢者や身近な人の協力が困難な障がい者を対象にした制度で、収集日に職員が自宅前からごみを収集すること。今後に対しての質問に、過去5年で実績が約1.5倍にふえており、需要がふえていくことを念頭に入れ、体制づくりやサービス内容の検討が必要と考えているとのことだった。

道路通報アプリ「パツ！撮るん。」

市が管理する道路の破損状況を、スマホのカメラ

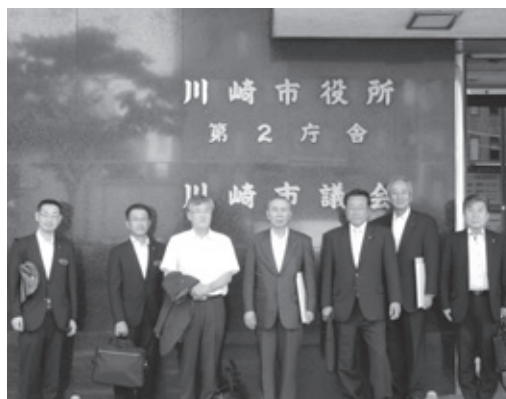
とGPS機能を利用して市民が手軽に通報できるスマホのアプリとのこと。通報されたメールは担当課が確認し土木係が現場を確認の上、補修されるとの説明があった。

導入効果として、従来は電話でのやりとりで場所や状況、規模の把握が難しかったが、写真で状況や場所が確認でき早期に対応できるとのこと。対応についての質問に対しては、簡易な補修は職員が対応し難しいものは委託や工事発注で対応しているとのことだった。

さがみはら森林ビジョン実施計画

津久井地域はスギ・ヒノキを中心に9割が伐採適期を迎えている。しかし木材価格の低迷、林業労働者の減少により森林所有者の管理意識が低下し、手入れ不足の森林が増加したことから森林の将来像を見据え、木材の利活用を図り、森林所有者、林業関係者、消費者、市民が連携のもと森林が持つ公益的な機能を発揮できるよう、市民全体で整備体制の構築を図るべく「ビジョン」を策定したとの説明があった。

(落合範良)



主な要望活動

渡辺優子議長は8月1日・2日に、秋田・山形・新潟3県の沿岸17市町村議会で組織する東北日本海沿岸市町村議会協議会の活動として、国土交通省、財務省、自由民主党国土交通部会長、各県選出国会議員に、地域の課題についての要望書を提出してきました。

提出した要望事項は次のとおりです。

○日本海沿岸東北自動車道の建設促進について
○羽越本線整備促進・高速化推進及び羽越新幹線整備促進について

このほか、議員活動の一環として、各種同盟会等が行う要望活動へ積極的に参加し、国や県、地方選出国会・県議会議員に対して道路や河川の整備、それによる市民の安全・安心の確保等の要望を行っています。

今年度これまで議長や議員が要望活動に参加した同盟会は次のとおりです。

- ・秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会
- ・国道101号整備促進期成同盟会
- ・西津軽能代沿岸道路建設促進期成同盟会
- ・八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会
- ・能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会
- ・県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会
- ・米代川治水期成同盟会
- ・秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会

議長の主な動き 7月～9月

- ・能代市行政協力員会議及び能代市自治会協議会総会
- ・県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会総会
- ・道の駅ふたつ一周年記念式典
- ・銀河連邦ノシロ共和国閣僚会議
- ・秋田県市議会議長会定例会
- ・秋田県北部市議会連絡協議会
- ・能代市成人式
- ・米代川治水期成同盟会・秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会合同総会
- ・能代市戦没者追悼式・平和祈念式典
- ・落合テニスコート オープニングセレモニー
- ・能代市敬老会

議長の交際費を公開します《7月～9月分》

- ・北都親交会講演会・懇親会……………5,000円
- ・能代市行政協力員会議及び能代市自治会協議会総会・懇親会……………5,000円
- ・秋田銀行能代支店長歓迎迎会……………7,000円
- ・能代山本医療福祉総合エリアを守り育てる友の会納涼福祉祭……………5,000円
- ・日吉神社例祭 神幸祭宵祭……………5,000円
- ・能代宇宙イベント懇親会……………5,000円
- ・能代山本北都会懇親会……………5,000円

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
 ※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規程」に準じて支出しております。

請願・陳情の提出期限

12月定例会の請願・陳情の提出期限は、開会日(12月3日)の午前10時までとなっています。

「議会を傍聴しませんか」

本会議はどなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。備えつけの「傍聴者名簿」に住所・氏名を記入し、傍聴席へお入りください。耳の聞こえにくい方のために、音声を取りやすくする磁気ループシステムを用意しておりますので、希望される方は、傍聴希望日の前日までに議会事務局にお申し出ください。

なお、本会議当日は、本庁舎1階市民交流スペースと二ツ井町庁舎1階市民フロアに設置してあるモニターでも中継を見ることが出来ます。また、市ホームページ等から本会議のライブ中継・録画中継や、市議会会議録を見ることが出来ます。

12月定例会の予定

- (招集場所：能代市本庁舎議場)
- 12月3日(火) 開会・提案説明
 - 9日(月)～11日(水) …… 一般質問・議案の質疑
 - 12日(木)～13日(金) …… 常任委員会
 - 16日(月) …… 議会基本条例策定特別委員会
 - 18日(水) …… 議決・閉会

会議の日程及び開議時刻(午前10時)は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

暑かった夏が過ぎたかと思っていたら、ことも早いもので残すところ2カ月を切りました。気はだいぶ早いのですが、母校である旧湊城第二小学校の満開の桜に彩られた暖かな春の訪れが待ち遠しい私です。

これから寒さも厳しくなっていますが、お風邪など召されませぬよう御自愛ください。残り少ない本年ではありますが、市民の皆様にとりましてよき年末を迎えられ、新しい年を迎えられますよう、心からお祈りいたしております。

議会や議員の活動を限られた紙面の中で、よりわかりやすくお伝えできるように今後も努力してまいります。

市議会だよりを読んでいたいただき、ありがとうございました。(渡邊正人)

【御意見・御感想をお寄せください】

のしる市議会だより「わたしのまち」をのりになった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

〒016-8501

能代市上町1番3号 能代市議会事務局宛

能代市議会 広報委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 落合 友一 |
| 副委員 長 | 佐藤 智康 |
| 委員 | 大井 隆英 |
| 委員 | 菅原 正良 |
| 委員 | 安高 文彦 |
| 委員 | 落合 章一 |